

一般廃棄物処理施設整備事業について

No.11
2019.9

環境衛生課 ☎ 89-2426
<https://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/>

「生活環境影響調査」を実施中です。

能代山本広域市町村圏組合では、現在、新たな一般廃棄物処理施設の稼働に伴う周辺環境への影響について調査しています。この調査は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定に基づき実施するもので、廃棄物処理施設を設置した場合に、周辺の生活環境にどのような影響を及ぼすかについて、事前に調査・予測を行うものです。その結果を分析することにより、地域ごとの生活環境に配慮したきめ細やかな対策を検討していきます。

今年8月から概ね1年をかけて、建設地（能代市竹生地区）周辺の現況調査を実施し、予測・評価を行います。

調査の流れ

調査計画

調査内容の計画を立てます。

現況調査

現況把握のための調査を実施します。

予測・評価

調査結果を基に、環境への影響を予測・評価します。

調査報告

調査結果をみなさんへお知らせします。

主な現況調査

地上気象調査

気温・湿度・風向・風速等気象状況の観測調査を行います。



悪臭調査

空気中の臭気指数や悪臭物質の調査を行います。



大気質調査

二酸化硫黄・窒素酸化物・ダイオキシン類等の調査を行います。



※上記の調査のほか、騒音・振動、水質、底質、土壌の調査を行います。
詳細は裏面の表のようになっています。

令和元年度の事業内容

現在進めている一般廃棄物処理施設整備事業に係る業務委託について

◆施設整備基本設計（基本設計策定業務）

施設整備に必要な基本的な条件を整理し、公害防止条件、施設の配置計画、主要設備の構成、余熱利用など施設設計の基本事項を整理します。

◆現況調査（測量調査、地質・地下水調査）

建設地の形状を把握するため、測量調査を行います。

また、建設地の概ねの地盤構造を把握するための地質調査と、飲料水及び施設利用のための地下水調査を行います。

◆事業方式の検討（PFI等導入可能性調査）

ごみ処理施設の建設・運営は、公設公営が一般的でしたが、近年では民間の資金やノウハウを活用したPFI（民設民営）や、建設と運転管理を一括発注するDBO（公設民営）などの方式を導入する事例が増えています。この調査では、プラントメーカーに事業方式ごとの参加意向調査を行うと共に、概算事業費を比較し、施設の建設から運営までにおいて、効率的で経済的な事業方式の検討を行います。



プラントメーカーにアンケート調査を実施して、新たなごみ処理施設に最も適した事業方式を検討するよ。

民間事業者の持つ専門的な技術や運営のノウハウを活用することで、より効率的で経済的に事業を進められるんだね。



◆生活環境影響調査（2箇年）

下表の項目について、建設地及びその周辺で調査を実施します。

調査項目	調査内容	調査地点数と調査時期
地上気象	風向、風速、気温、湿度、日射量、放射収支量	1地点：1年間連続
大気質	粉じん	降下ばいじん
	一般環境	二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、塩化水素、ダイオキシン類、水銀
	沿道環境	窒素酸化物、浮遊粒子状物質
騒音振動	一般環境	騒音レベル・振動レベル
	沿道環境	騒音レベル・振動レベル・交通量等
悪臭	臭気指数	5地点：1回×2季
	特定悪臭物質	1地点：1回×2季
水質	一般項目、生活環境項目	2地点：1回×2季
	健康項目、ダイオキシン類	2地点：1回×1季
底質	土壌の環境基準項目、ダイオキシン類	1地点：1回×2季
土壌	環境基準項目、ダイオキシン類	1地点：1回×1季